

副院長就任のご挨拶

副院長 新中須 敦

糖尿病内科主任部長
医学博士／日本内科学会専門医／日本糖尿病学会専門医・指導医／
内分泌学会専門医・指導医／プライマリーケア学会認定医・指導医／
日本動脈硬化学会専門医



2025年4月より、病院の副院長として就任する運びとなりました。その責任の重さを胸に刻み、皆様の信頼に応えるべく尽力してまいります。

私は、2018年に当院に糖尿病内科医として赴任しました。糖尿病はただ一つの病気ではなく、患者様一人ひとりの生活や未来に深く影響を与える、複雑で多面的な疾患の一つです。そのため、診療の現場においては、病そのものへの対処だけでなく、患者様の人生全体を考慮したケアが必要です。常に新しい技術や治療法の活用をバージョンアップしながら、薬物療法だけではなく、食事療法や運動療法が連動したチーム医療体制を強化することで、患者様の生活の質を向上させることを心がけております。しかし、上記を考慮するためには、それ以上に患者様との信頼関係と対話が大切です。糖尿病という病に対して、ただ「治療する」という視点だけでなく、「ともに歩む」という姿勢を持つことをこの病院で学び、日々診療に当たっています。

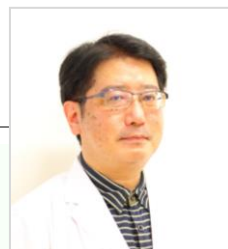
赴任した当初、当院は、専門性と温もりを兼ね備えた診療を提供するために、スタッフ全員が一丸となって努力している病院であると感じました。この姿勢は糖尿病診療の姿勢と通じるところがあると考えています。副院長としての私の目標は、この姿勢をさらに強化し、地域医療との連携を深めることで、患者様の健康を支える柱となることです。主に糖尿病診療の分野を通じてになりますが、高齢化が進み、現行の医療制度が変容していく中、微力ながらもこれまで以上に皆様にとって新しい当院の価値を築いていきたいと思っております。

最後に、皆様とともにより良い医療サービスを築いていければと思います。これからもどうぞご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

地域連携室 室長就任のご挨拶

地域連携室 室長 瀧川 譲治

消化器外科主任部長
日本外科学会認定医・専門医



このたび、地域連携室の室長を拝命いたしました瀧川と申します。

患者さま一人ひとりの社会的、医療的背景は実に様々です。当院で働き始めてから高齢の方の在宅療養支援や急な入院対応、また多様な家族構成に応じた医療・介護の提案など、いろんなケースに関わりました。その中で地域の中で必要とされる病院の役割も広がってきていると実感しています。

こうした中で、当院が持つ地域包括ケア病棟と一般急性期病棟の機能を、十全に活用するためには地域のかかりつけ医の先生方とよりよく連携することが求められていると考えました。急な入院加療が必要となった患者さまを速やかに受け入れ、状態が落ち着いたあとは、再び地域の先生方へスムーズにお返ししてつないでいく——そんな循環をより効率的にできるように努めたいと思っております。

私としては、当院の医療機能を地域の先生方、患者さまにとって「使いやすく」「頼れる」ものとして活かせるよう、丁寧に連携を図るため、顔の見える関係づくりを大切にしていきたいと思っております。

至らぬ点も多々あるかと思いますが、今後ともご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

いづろ今村病院 在宅支援センターのご案内

鹿児島県内における65歳以上の高齢者の割合は、2023年度に33.8%を記録しており、今後10年後の推計では37～38%程度に上昇すると見込まれています。これに伴い、医療従事者についても高齢化に加え、人口減少による担い手の減少が懸念されます。人口減少と高齢者の増加がもたらす様々な課題は避けては通れない未来であり、当院においてもここ数年、病院再編計画に基づいて種々の取り組みを進めてまいりました。今回、病院の入り口から出口までの支援体制を再編成いたしましたので、その概要をご案内申し上げます。

当院ではこれまで、地域連携室（看護師、ソーシャルワーカー、心理士、事務員）、訪問診療（医師、看護師）、デイケア・訪問リハビリ（PT、OT、ST）、居宅介護支援事業（ケアマネ）および医療・福祉相談（看護師、ソーシャルワーカー、事務員）と、各部署がそれぞれの専門性を発揮しながら在宅療養生活の支援に努めてまいりました。しかし、今後拡大が見込まれる在宅医療・介護ニーズに対応するため、外来（紹介）から入退院支援、さらに退院後の在宅医療、リハビリ、介護までを一貫して提供する支援体制の確立を目指し、各部署の機能統合による「在宅支援センター」を2025年4月1日に設置いたしました。

本センターは、旧健康管理センター跡地（本館1階）を一部改修し、部署統合による新たな組織体制を構築いたしました。医師、看護師、ソーシャルワーカー、心理士、リハビリ、ケアマネなど多職種が連携し、医療、福祉、介護に関する相談機能に加え、入退院支援および訪問サービスの提供を包括的に行います。地域住民の皆様が医療から介護、在宅療養に関する不安やご相談をお持ちの際、どの窓口にお問い合わせればよいか不明瞭であったという課題を解消するため、相談窓口を一元化し、迅速かつ円滑な対応を目指しております。

当院の在宅支援センターが、地域の医療・介護・福祉に関するお悩みの解消、適切な医療の提案及びより良い在宅生活支援を行えるよう精進して参りますので、今後とも、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

< 問い合わせ先 >

- ・ 地域連携室、医療福祉相談室
電話：099-226-2180（直通）
FAX：099-226-2181（直通）
- ・ 指定訪問リハビリテーション ウェルネスじあい
電話：080-4112-0864（直通）
FAX：099-226-5208（直通）
- ・ 指定居宅介護支援事業所 ウェルネスじあい
電話：099-226-5207（直通）
FAX：099-226-5208（直通）

